

貼って表示を「13か国語に」

QR翻訳シール 鉄道路線図など多言語化

ナビット

各種データの調査と販売を行う㈱ナビット（東京都千代田区九段南、福井泰代社長）はこのほど、QRコードが印字されたシールを看板や印刷物に貼る

同社は駅の構内で掲示されている「のりかえ便利マップ」を考案した企業。現在、全国の駅構内図や路線図の7割以上をナビットが制作を手がけている。

今回サービスを開始するQR翻訳コードは、多言語表示をしたい情報媒体にQRコードを印刷したシールを貼り、それをスマートフォンの方で読み取れ

ことで、表示情報を13カ国語に変換する「QR翻訳シール」のサービス提供を開始した。増加する訪日外国人や2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、路線図や構内図の多言語化表示を想定したものの、首都圏および全国の鉄道事業者や大型施設運営者などに販売を進める。

ば、対象の情報を13カ国語で表示とすることができるといふもの。表示可能な言語は英、中（簡・繁）、韓、タイ、インドネシア、アラビア、露、仏、伊、独、スペイン、ポルトガル。

同サービスの開始に際してナビットは昨年、自社で保有する全国約1万駅の駅データベースをアドレのイラストレーターにつなぐ、プラグインソフトを開発。平成26年度のものづくり補助金の採択事業「東京オリピックに向けた「13カ国語、多言語路線図アプリ」開発」を通じて、独自の「多言語変換ソフト」を完成させた。

東京五輪を想定し先行してモデル化した首都圏の地下鉄路線図以外にも、同ソフトを運用すれば、全国主要都市の路線図を低コス

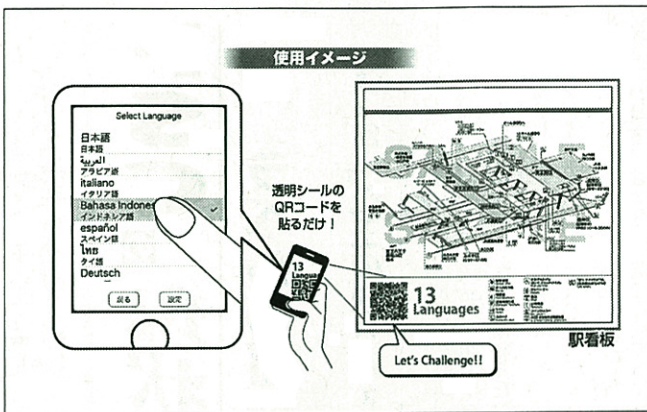
ト・短納期で多言語表示化できる。これ以外にも、ホテルの館内案内やレストラン

のメニューの多言語化といったサービスにも対応可能だ。QR翻訳シールについて、同社担当者は次のように話す。

「小冊子やポスター、屋外看板やデジタルサイネージと、QRコードのシールを貼るだけでさまざまな情報を13カ国語に変換できる。内容を変更してもシールを貼り直すだけなので、メンテナンスも容易だ」

「ナビットは駅情報以外のデータベース、コンテンツも多数所有しています。今後各分野のプロなどと協業しながら、本来得意とするナビゲーションコンテンツのさらなる充実化を図り、当社が提供する多言語表示サービスを通じて一人でも多くの訪日外国人の方々に喜んでほしい、日本のファンになっていただければ」

QR翻訳シールの詳細は同社（☎03・5211・5713）まで。



「QR翻訳シール」を貼った駅の構内図イメージ。スマホでアクセスした先で13カ国語対応の構内表示が選択可能と、訪日外国人を支援することができるサービス